2002年4月

# DVD オーサリングシステムの使い方

ビデオテープ等から映像を取り込み DVD-R に焼き込むまでには、映像データの取込み、取 り込んだデータの確認、音声のドルビー変換、DVD オーサリング、データの書き込み、と いった作業を行います。ここではこれら作業の概要を説明します。

## [ワークフロー]



#### [用意するもの]

1. DVD-R メディア

DVD for Authoring (4.7GB)

※)店頭で最も良く見かける DVD-R for General はマルチメディアフロアでは利用できません。注意してください。

2. ビデオ素材

DV、MiniDV 等で用意しておきます。

※)編集がまだでしたら窓際のノンリニアビデオ編集システムで先に編集を済ませましょう。3. タイトル等

タイトル等に静止画を利用する場合は、720×540 というサイズで tiff もしくは pict 形式で 作成しておきます。簡単な修飾をほどこした文字程度であればオーサリングシステムの中で 挿入することもできます。

# [準備]

コンピュータ、コンピュータの横にあるモニタと DVD-R ド ライブ、窓際の机にあるビデオデッキを使用します。これら機 器の電源を入れてください。さらに、ビデオデッキの右にある チャンネルを DVD-R という表示のある方に倒しておきます。 コンピュータが起動するとウインドウに右図にあるアイコンが 表示されます。以下の作業では図の左側に並んでいる5つのア イコンにリンクされたアプリケーションを使用します。アイコ ンは作業で必要になる順に上から並べてあります。Work ディ スクにデータ保存用のフォルダを作成しておきましょう。



#### [映像データの取込み]

DVD オーサリングの前にビデオテープで用意した素材データをコンピュータに取り込ま なくてはなりません。これには、Media Press というアプリケーションを利用します。ウイ ンドウの右上にある Media Press へのリンクをクリックすると下にあるようなウインドウ が開きます。右下の Settings ウインドウの内容は変更してはいけません。



まず、左上の Deck Control ウインドウで取り込み開始、終了位置を指定します。ウインドウ上部にある巻き戻し、再生、早送りボタンを操作して取り込み開始、終了位置を決めてください。このとき、マルチメディアフロアのシステムでは、画面上でビデオの内容をモニ

タすることはできません。左横にあるモニタ用ディス プレイを利用してください。取り込み開始(終了)位 置で Start (End) とある行の Set ボタンを押して位 置を指定します。

次に、取り込む映像データの保存先を指定します。 メニューバーの File から Save Encoded Files As... を選択してファイルの保存先を指定します。保存先は、 Work ディスクに作成しておいたフォルダ内を指定し ましょう。

MediaPress*	•
_Control	
Preview	
_Information	
Remaining Disk Space:	19874 MB
Elapsed Recording Time:	::
Destination	
30:test:encode:imc2002	
7	
🗹 Use Batch List	
Embed deck TC in video stream	
🗌 Concatenate list to 1	file

Media Press ウインドウにある赤丸印の録画ボタンをクリックするとビデオからデータが 読み込まれ、映像と音声が別ファイルで保存されます。

# [データの確認]

取り込んだ映像を確認するには DVD Station というアプリケー ションを利用します。上から2番 目にある DVD Station へのリン



クをクリックすると、右図のようなウインドウが開きます。右下のモニタの形のボタンが、 TV mode になっているか確認してください。TV mode になっていればモニタの右上にア ンテナの印が表示されます。なっていないときはボタンをクリックして TV mode にします。

メニューバーの File から Open File...を選択し、先程取り込んだ映像ファイルを開きます。 映像ファイルは拡張子が mpv のファイルです。上図にある再生ボタンを押すと取り込んだ 映像が再生されます。



#### [音声の変換]

ここで、音声をドルビー形式に変 換しておきましょう。上から3番目 にある Transcoder へのリンクをク リックすると、右図のようなウイン ドウが開きます。Audio Set 等にあ る各種設定を変更してはいけません。

上部にある+ボタンをクリックし、 先程取り込んだ音声ファイルを開き ます。音声ファイルは拡張子が aiff のファイルです。AIFF Channel Map というウインドウが開きますので、 OK をクリックします。

次に、再生ボタンをクリックし、変換したデータの保存先を指定すると音 声データの変換が始まります。変換が 終了するまでしばらくかかります。



ここまでで、DVD オーサリングに必要な準備は完了です。複数の素材データがある場合に はそれぞれの素材についてここまでの作業を行っておきます。

## [DVD オーサリング]

いよいよ DVD オーサ リングです。ここでは、 最も単純な DVD を作成 するために必要な操作の み 説 明 します。 Sonic DVD Fusion SL を本格 的に利用したい方は、マ ニュアルを参照してくだ さい。上から4番目にあ



る Author というリンクをクリックすると、Sonic DVD Fusion SL が起動します。既存の プロジェクトがある人以外は New Project をクリックして、これから作成するスクリプト等 を保存するためのファイルを Work ディスク中に作成します。

下図のようなウインドウが表示されたと思います。まず、準備しておいた素材を Source List for "ファイル名"という名前のウインドウに登録していきます。音声ファイルは、ドル



ビー変換して保存したファイルの中に、ses という拡張子のついたセッションファイルがあ りますので、これを Finder からドラッグ&ドロップして登録します。映像ファイルについ ては、セッションファイルはありませんから、mpv ファイルをドラッグ&ドロップして登録 します。このときワーニングメッセージが出ると思います。この状態で、Source List for "フ ァイル名"ウインドウをクリックすると Import Type を指定するウインドウが開きます。 MPEG Video が選択され、Encode if needed がチェックされているのを確認して、OK を クリックします。

ここでは、Source List に登録したファイルを Title Set の Video ト ラック、Audio トラックに挿入します。Title Set 1:1 PGC#1 と書かれ た左図のような Title Set があると思います。赤い矢印で示した中央の 四角をクリックすると、Presentation Editor が開きます。Source List



から.aiff.ses という拡張子のついた音声データのセッションファイルを Audio トラック に、.mpv.ses という拡張子のついた映像データのセッションファイルを Video トラックに ドラッグ&ドロップして挿入していきます。タイトル画面を作成したり字幕をつける場合に は、必要な作業を行います。やり方はマニュアルを参考にしてください。



Cols
 VERIFY
 FORMAT
 PROOF
 Calify
 Cols
 Cols</li

です。先程、素材を登録した Title Set の上にある Video Manager をクリックして選択し、 deleate キーを押して削除してしまいましょう。すると、VERIFY ボタンをクリックしても エラーメッセージは出なくなったと思います。まだ、エラーが残って

いる場合にはここまでの作業でどこか間違っていないか良く確認して ください。エラーメッセージが出なくなったら、PROOF ボタンをク リックしましょう。下図のように、リモコンの形をしたウインドウが 開いたことと思います。このリモコンを操作してここまでで作成した コンテンツを再生してみましょう。このリモコン操作で表示される内 容は、作成した DVD を DVD プレイヤーで再生した際にプレイヤー 付属のリモコン操作で表示される内容と、一部制限はありますが、基 本的に同じものです。再生ボタンを押すと左横にあるモニタ用ディス プレイで登録した映像が再生されるはずです。Power ボタンを押すと リモコンウインドウは終了します。



この他にも、字幕を2種類まで挿入したり、タイトルページを作成してそこにいろいろなコン テンツへのリンクを作成することもできるのですが、そちらについてはマニュアルを参照して ください。Work ディスクの中の Tutorial というフォルダ内にいろいろなサンプルも用意して あります。

# [データの書き込み]

データを DVD に書き込むには、Tools のまん中にあった FORMAT ボタンをクリックし ます。 (デスクトップにある imager アイコンをクリックしても同様のウインドウが開きま す。) 下図のようなウインドウが開きます。まず、Source に Script File を、Destination に DVD Disc Image を選択し、作成したコンテンツをハードディスク上に保存します。保存先 は、DVD Disc Image と書かれた横にある Select...ボタンをクリックして指定します。Work ディスクに作成しておいたフォルダを指定しましょう。Transfer ボタンをクリックすると DVD Disc Image の書き出しが始まります。

Imager 🛛 🗧	Imager I
Source Script File  Select Soript hogehoge.as Size: < Size Unknown >  Destination  DVD Disc Image  Select Joliet File: hogehoge.image FTP  Transfer	Source          DVD Disc Image       Select         File:       hogehoge2.Image         Size:       163,053,560         Destination       Disc: DVD-R DVR-S201 + Select         DVD-R:       PIONEER DVD-R DVR-S201 2.14         DVD-R:       PIONEER DVD-R DVR-S201 2.14         Transfer

これで、DVD に書き込みを行うための準備は全て整いました。書き込みを行うには、再 度、FORMAT ボタンをクリックし、Source に DVD Disc Image を、Destination に Disc: DVD-R DVR-S201 を選択します。Transfer ボタンをクリックすると Disc への書き込みが 始まります。書き込みに失敗した場合、その Disc は使えなくなりますので、書き込みを行 っているコンピュータ上で他の作業は行わないようにしてください。